



『生徒の力を引き出す』学校に

～教員の意識改革、「教え込む」から「引き出す」指導に～

校長 市場 陽一郎

立春が過ぎてからの最強寒波の到来もありましたが、陽は延びて確実に春に近づいています。そして今、3年生の進路決定も大詰めを迎えています。これまでの自分の努力を信じて堂々と受験に臨み、「春」を迎えてくれることを願っています。

さて、学校評価をはじめ一年を振り返る時期になってきました。今年度も教員と生徒や保護者の信頼関係の構築を基軸に「人に優しい、共に学ぶ学校」を目指して教育活動を行ってきた本校です。しかしここで、反省も含め今後さらに信頼される学校になるために意識すべきことを確認しました。学び合う授業に手ごたえを感じている教員が増えて深い学びを追求する中で、誰一人取り残さないために、『学び合う授業を進化させる』必要があること。また、生徒の優しさや強さを育むために、教員自身が人権意識を高め一人一人の生徒を理解して生徒の良さを認め、『その力を引き出せる指導』を行うことが必要であることを校内で共有しました。

ここで紹介する資料は、「デンマークサッカー協会少年指導10か条」です。現在の部活動改革は教員の働き方改革の側面がクローズアップされています。振り返ってみると15年前は、行き過ぎた部活動指導の防止や指導の在り方の改革が叫ばれていました。その当時、不適切な指導防止の校内研修で活用したものがこの資料でした。

デンマークサッカー協会少年指導10か条

- ① 子どもたちはあなたのモノではない。
- ② 子どもたちはサッカーに夢中だ。
- ③ 子どもたちはあなたとともにサッカー人生を歩んでいる。
- ④ 子どもたちから求められることはあってもあなたから求めてはいけない。
- ⑤ あなたの欲望を子どもたちを介して満たしてはならない。
- ⑥ アドバイスはしてもあなたの考えを押し付けてはいけない。
- ⑦ 子どもの体を守る。しかし子どもたちの魂まで踏み込んではいけない。
- ⑧ コーチは子どもの心になる。しかし子どもたちに大人のサッカーをさせてはいけない。
- ⑨ コーチが子どもたちのサッカー人生をサポートすることは大切だ。しかし自分で考えさせることが必要だ。
- ⑩ コーチは子どもを教え導くことはできる。しかし、勝つことが大切か否かを決めるのは子どもたち自身だ。



改めて見直し、「サッカー」という文字を授業や部活動などの学校で行う教育活動に置き換えてみました。その時私は、一瞬息を呑むような感覚になりました。さらに「コーチ」の部分に教師に換えて読むと、また違う視点に立って生徒への指導や支援について考えなければと感じました。「子どもたちの良さを引き出す。」口で言うほど簡単なことではありません。それでも本校の進む方向性を信じて、学び合う授業づくりと人権感覚を大切にしたい優しい学校づくりを進めてまいります。

最後に、都立一般入試、学年末考査を終えると、一気に卒業式、修了式です。これまで最上級生として学校を牽引した3年生には三年間共に学んだ仲間や教員と良い時間を過ごし、後輩たちの憧れの先輩としてこの学び舎を卒業して行ってほしいと思っています。1、2年生には憧れられる先輩になるために、それぞれの課題の解決に前向きに取り組んでくれることを期待しているところです。

令和6年度後期学校評価について

本校の学校評価は学校運営協議会の評価部を中心に行われています。この学校評価の形は市内では珍しく、客観性の担保や地域と共に行う学校運営にとって先進的な取り組みとなっています。

その学校運営協議会評価部による評価委員会を2月13日(木)、浅川小学校長、地域、PTAの委員の皆様と行いました。回答いただいた「学校評価アンケート」を基に、生徒、教職員、保護者、地域アンケートの分析と今後の学校運営について話し合いました。昨年度を上回る肯定的な評価となりましたが、Webでのアンケート回答になってからの保護者回答率が下がっており、次年度は保護者の皆様にあらかじめご協力をお願いしたいと考えているところです。

今回の生徒、保護者、評価委員会や学校運営協議会でのご意見を参考に今後の学校改善に努めていきます。尚、集計結果は学校ホームページ、ホームアンドスクールに掲載します。

学校評価委員会より

- 校訓浸透度からも学校の目指す方向性が一致していると感じる。良い学校になっているのではないかな。
- 学運協やこの評価委員会による学校評価は客観性もあり、大変重要なものであると感じた。
- 生徒の肯定的な意見が高水準で維持されているが、学年差の解消をお願いしたい。
- 今年度も教員と生徒の関係は良い状態であり、教員の丁寧な指導や支援が結果に表れているのではないかな。
- 90%以上の生徒が学び合う授業づくりを肯定的に捉え、生徒による教員の授業評価も良い状態である。
- 目立たないがしっかりと学校生活に取り組んでいる生徒を評価し、言葉を掛けて見守っていただきたい。
- 生活指導部や学年を中心に組織的ないじめ対応が生徒の高い評価につながっていると推察できる。
- Eてらこや部となり放課後学習の在り方については改善されつつある。学習ボランティアの募集が必要。

保護者自由意見を受けて

- 教員の授業改善への取り組みや生徒一人一人への対応に対してよい評価をいただきました。しかし、一部教員の指導が生徒との信頼関係を損ねていると指摘を受けました。学校全体の問題と捉え、より人権意識を高め、より丁寧な指導を行ってまいります。
- 栗山の土砂災害への対応については八王子市とも連携を図ります。校内では移動通路の変更等で対応します。また、災害時の休校や登校時間の変更についても出来る限り早めの判断で連絡できるようにしてまいります。
- 授業規律は本校が大切にしているものですが、一部に授業妨害に当たる行為があるとの意見をいただきました。「誰ひとり取り残さない」ためにも全体指導、個別指導で生徒の意識を高め、共に学び高め合う学校風土の醸成に努めます。そして、落ち着いて学べ、安心できる居場所となる学習環境をつくってまいります。
- 部活動改革については八王子市の方針に基づき進めます。学校説明会等でも丁寧に説明してまいります。

令和7年度教育課程の柱と行事予定

- ◎聴き合い、高め合うための学び合う授業づくり
- ◎自己指導能力、自主的行動力の伸長
- ◎不登校生徒への支援、いじめ未然防止
- ◎小中一貫教育の推進
- ◎基礎学力、思考力向上

◇週27時間(月曜5時間)設定による「いじめ不登校対策」「教員の働き方改革推進」「部活動改革推進」

◇水曜日を4時間授業とし、5校時目に生徒理解の時間、教員研修等を設定

◇主な学校行事実施の年間計画

- ・1学期始業式4/7(月) ・入学式4/9(水) ・体育祭5/31(土) ・1学期末考査6/18(水)
- ・1学期終業式7/25(金) ・2学期始業式8/28(木) ・修学旅行9/12(金)より
- ・2学期中間考査9/25(木) ・福島移動教室10/1(水)より ・音楽祭10/24(金)
- ・2学期末考査11/19(水) ・職場体験11/26(水)より ・2学期終業式12/25(木)
- ・3学期始業式1/8(木) ・1年校外学習1/23(金) ・卒業式3/19(木) ・3学期修了式3/25(水)



まなびの杜あさかわ 《 浅川中学校運営協議会の広報ページ 》

第10回 学校運営協議会報告 日時：令和7年2月13日（木）19：00～ 被服室

1. 会長あいさつ

先月、連絡協議会で学校評価について話しました。本校のように学校運営協議会が学校評価をしているのは、他の学校ではあまり無く、2校だけでした。学校が自己評価をやっているという基本的な流れはあまり知られていません。学校からアンケートをもらって答えている、という状態です。今年度のほとんどの行事も終わりました。教育課程についても、後で話がありますが、教育課程の話を受けて、学校運営協議会が承認する大切なことです。こうした方がよい、というご意見をいただきたい。

2. 各部の報告

- ①評価部 ・先ほど評価委員会を実施しました。アンケート結果について分析し、評価委員の皆様からご意見をいただきました。
- ②支援部 ・図書ボランティア活動、E てらこやの活動、花いっぱい運動について。
- ③総務部 ・2月7日新入生説明会で、部活動リーフレットを配布しました。
・1月10日のあいさつ運動の報告。来年度は、4月11日（金）中学校集合、9月5日（金）小学校集合、1月9日（金）中学校集合の予定です。
・生徒会の要望書を待っています。
- ④漢検担当 ・来年度、7月4日（金）は研究授業が予定されているので研究授業終了後実施します。
・第2回は音楽祭の日になっていますので、11月7日（金）実施とします。3年生は入試への活用に間に合わないので、学校受付ではなく、個人での受検を勧めます。
- ⑤英検担当 ・来年度は、5月23日（金）、9月26日（金）に実施予定。
- ⑥事務局 ・学校だより発行は2月19日です。来年度予算執行計画書について変更点など報告。

3. 学校の様子など

①学校長より

- ・給食センター檜原の地域 11校の中で一番残食が少ないと聞きました。浅川中学校のあいさつのよさなどにもつながっているのではないかと思います。
- ・学びあいの学習の推進で、オンラインの研修に参加しました。2月14日には、大研修授業を行います。
- ・新入生の人数もそろそろ確定し、クラス数も決まっています。
- ・2月18日（火）には1年生の授業で、しいたけの菌打ちを行います。

②生活指導主任より

- ・生活指導主任の集まりで、不登校や特別支援に関することについて話がありました。八王子市は東京都の平均よりも不登校の割合が多いですが、浅川中は八王子の平均よりは低くなっています。
- ・来年度、不登校支援の巡回教員のシステムが新しく導入されますが、本校でどのようになるか、わからないところもあります。

③各学年より

- ・**1年生** 1学年では1月24日、校外学習を実施しました。帰りには京王線で事故があり、府中で留まった班がありましたが、18時過ぎ頃に最終チェックとなりました。普段の授業の影響で、班活動で意見を言い合う関係はできているので、仲良く行動ができました。時間が足りなくなり、博物館など大事な見学先を省略した班がありました。修学旅行に向けてなど、次への課題にしたいと思います。
- ・**2年生** 2年生は2月10日、「笑顔と学びのプロジェクト」で高尾山に行きました。計2時間くらい歩きました。生徒数は、104名参加しました。日本遺産の学習をやっているので、上村公昭さんから講話を聞いた後、精進料理を食べ、非常に良かったと思います。給食は残食ゼロができていますその姿勢が精進料理をいただく際にも生きていました。いよいよ3年生となる姿が見えてきています。3年生が受験に向けて取り組んでいることを時期に合わせて学活などで話題としています。テスト範囲を3週間前から配って、早めに学習に取り組ませています。
- ・**3年生** 3年生は、受験本番です。2月10日から、都内の私立高校の受験が始まっています。給食の話題がありましたが、この受験期間でも給食の残食がないように頑張ってお食事を食べています。都立の一般入試も近づいていますが、みんな元気に登校しています。受験したあと、午後から登校する生徒もいて感心しています。あと24日、登校すると卒業式です。

4. 議題

- ・令和7年度教育課程について

学校運営協議会の最も大きな仕事です。来年度の年間のことを3ページにまとめています。自分で動ける子たちを育てることを第一に目標を立てています。そのために何をするか、関わって学ぶ子たちをつくる、ともに学んでいく。みんなが成長していくことを意識した教育を行います。自分たちで発信しながら進んでいく、教え込んでいくのではなく、行事を含めて、学びあっていきます。不登校対応について、関わっていくことを大切にしていきます。地域の活動も力を入れていきます。ボランティアカードを活用して、参加した生徒を評価していくなどしていきたいと思っています。

5. その他

- ・浅川センター祭りについてなどお知らせがありました。

中研究授業

1月22日(水)5時間目、学び合う授業づくりのための中研究授業を行いました。今回は学年ごとに特別支援教室くりやまの教員が通常のクラスで、合意形成コンセンサスについての授業を行いました。楽しみながら真剣に取り組んでいました。授業後には、教員で協議会を持ちました。発達段階を踏まえての授業づくりを今後も進めていきたいと思っております。



1年生校外学習 都内めぐり

1月24日(金)、1年生は校外学習で都内めぐりを行いました。生徒たちは初めての校外学習の班行動です。時間配分が予想と違っていたり、多少のトラブルが生じたりした班もありました。時間を調整したり、教員に相談したりしながら臨機応変に動くことができていました。電車の遅延の影響等で、最終到着の班は午後6時頃となりましたが全員無事到着しました。

全校朝礼 海外青少年派遣事業の報告

2月3日(月)全校朝礼の校長講話では、「聴き合い」、「学び合い」、「共に成長しよう」という目標について話がありました。皆さんは聴く力を持っていますか。これからもさらに聴く力をつけて行きましょう。「聴く力」とはつまり相手を認める行為です。学ぶということの基本は、「聴く」という行為です。3年生は受験の時期ですが平常心でいてほしいです、晴れ晴れとした気分、安定した気持ちを保ちましょう。

八王子市の令和6年度青少年海外交流事業(台湾高雄市)に参加した1年生の山中美和さんから、台湾高雄市を訪問し、高雄市の中学生と文化交流した体験について発表がありました。海外でのコミュニケーションや、プレゼンテーションに必要なことなど学んだことや感じたことについて話しました。



笑顔と学びのプロジェクト

2月10日(月)、2年生が高尾山薬王院を訪れました。高尾山薬王院の上村公昭さんから、講話をしていただきました。現代につながる歴史や伝統文化の理解を深めました。講話の最後には、祈りを込めて、ほら貝も吹いていただきました。

精進料理をいただく前には、大本山高尾山薬王院中興第三十三世貫首の佐藤秀仁さんから話をいただきました。精進料理を食しながら、食による心の豊かさや健康、そして命の大切さを感じることができました。さる園のショーを楽しみ、野草園も観察しました。日本遺産の魅力について改めて知ることができました。歩きながら地域を体感し、郷土への愛や愛校心を高める行事となりました。

表彰

- 陸上部 第63回東京都中学校ロードレース大会男子1年2km競走
第1位 鈴木颯人、第7位 遠藤嵩太、第1位 瀬沼柊也、第5位 永峯凧朗
- 第63回東京都中学校ロードレース大会女子1年1km競走
第8位 眞崎紗羽、第7位 峯尾恋羽
- 令和6年度中学生人権作文コンテスト 協議会長賞 熊谷真那弥(2年)
- 令和6年度第20回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 浅井香風(1年) 浅井咲風(1年)
- 美術部 浅川市民センターまつりポスター制作 櫻井唯愛(2年)